

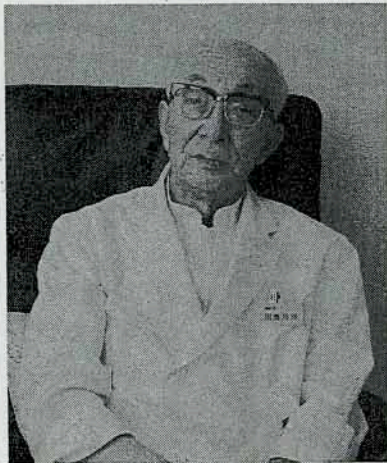
同門会だより

北大第2病理

優れた研究へ 長島賞を新設

教室創設は大正十一年で、木下良順、安保寿、恩村雄太、長島和

郎の歴代教授を経て、平成二十年五月に田中伸哉第五代教授が就任した。歴史と伝統を重ね「わが国の病理学発展に、教室は大きく貢



田島邦好会長

昭和9年8月18日 生 生まれ。日高管内浦河町出身。北大34年卒。中央区・田島クリニック相談役。

「心の拠り所」
支援惜しまず

本年度から分野名が「腫瘍病理学」に変更され、寄付講座「探索病理学」が誕生した。同門会主催の田中教授就任祝賀会では、道内四十の関連病院で活躍している会員が多数参加。「団結力の強さを改めて実感」とともに、教室のさらなる発展を誓い合った。

基礎研究の臨床応用を指し、Nature、Cell、JASPAらに掲載されたのに加え、がん新規分子標的治療開発、テレパソロジー全国ネットワーク形成、そして優れた病理医の輩出に取り組み教室を誇りに思い「われわれ同門会員の心の拠り所」と、今後支援を惜しまない。

田島会長は北大第一外科へ入局後、第二病理に四年間在籍し博士号を取得。その後、心臓を中心とする人工臓器の開発・研究に取り組んだ。「臨床に直接結びつく病理学は、臨床医に不可欠」と魅力

献した」と自負する。同門会の正式発足は昭和五十三年。小谷武彦初代会長から平成七年にバトンを受けた田島会長が、会員百六十人余のまとめ役を担う。

毎年十二月に総会と忘年会を開催。夏に長島名誉教授の名を冠して開催するゴルフコン

べは二十三年間続けており、世代を超えて親睦を深めている。二十一年度からは優れた研究成果を表彰する長島賞を創設し、若手の育成を進める考えた。

「腫瘍病理学」が誕生した。同門会主催の田中教授就任祝賀会では、道内四十の関連病院で活躍している会員が多数参加。「団結力の強さを改めて実感」とともに、教室のさらなる発展を誓い合った。

基礎研究の臨床応用を指し、Nature、Cell、JASPAらに掲載されたのに加え、がん新規分子標的治療開発、テレパソロジー全国ネットワーク形成、そして優れた病理医の輩出に取り組み教室を誇りに思い「われわれ同門会員の心の拠り所」と、今後支援を惜しまない。

田島会長は北大第一外科へ入局後、第二病理に四年間在籍し博士号を取得。その後、心臓を中心とする人工臓器の開発・研究に取り組んだ。「臨床に直接結びつく病理学は、臨床医に不可欠」と魅力